

横須賀市と GMO グローバルサイン・HD による 電子契約に関する実証実験の結果および年間効果の試算について

■実証実験の実施のお知らせ

2021年1月15日発表

[横須賀市プレスリリース]

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0835/newsrelease/gmo.html>

[GMO グローバルサイン・HD プレスリリース]

https://www.gmogshd.com/news/press/gmo-hs/210115_3114.html

■実施スケジュール

2021年1月下旬～3月 実証実験に関する準備、協力会社さま・関係者へのご説明会

2021年4月～6月 実証実験の実施

2021年7月～9月 関係者ヒアリング・結果のまとめ・考察

2021年10月 公開準備・プレスリリース配信

■概要

(1)目的

実証実験を通じて、1契約あたりに必要な時間の平均値を求める。これに年間の契約件数（横須賀市の全契約のうち、年間の工事・業務委託・物件調達に関する契約件数の前年度実績値）をかけることで、年間の導入効果を試算し、電子契約システム「電子印鑑GMOサイン」を導入した場合の効果を検証する。

(2)実証実験の手法について

横須賀市における業務委託及び物品契約において、市に登録のある事業者へ電子契約システム「電子印鑑GMOサイン」を用いた電子契約の実証実験への協力を依頼し、ダミーの契約を取り交わし行った。これにより、電子契約を使用した場合と、従来通りの紙の契約書を使用した場合とを比較し、1契約あたりの平均値を算出する。

算出した契約1件あたりの平均に対し、横須賀市で取り扱う全契約のうち、年間の工事・業務委託・物件調達に関する契約件数（令和2年度の横須賀市契約課における年間契約件数 約1,240件）を掛ける事で、同種の契約における年間の効果を試算した。

(3)実証実験の参加者

横須賀市、及び、市の協力事業者[I社]、協力事業者[F社]において、「契約締結作業時間」「起票～締結完了までの期間」を、横須賀市においては「紙の使用量」を、1契約あたりの平均枚数40枚を元に算出した。

(4)電子契約の署名タイプ

なお、使用する電子契約の署名タイプについては、横須賀市側は当事者型、契約相手方となる市の協力事業者は立会人型を使用することで、**安全性と利便性を両立できる「ハイブリッド型」を採用した。**

■活用効果

契約締結作業に関しては、横須賀市では約34%の削減、事業者では約88.5%削減できた。契約締結完了までの期間に関して、横須賀市が約95%の削減、事業者が約97.5%削減できた。

年間の活用効果を試算すると、紙の量については、電子契約に切り替えることで100%ペーパーレス化が可能になることから、横須賀市契約課では、年間で約5万枚（1契約あたり平均40枚×約1,240件にて算出）もの紙資源を節約する効果があることが明らかになった。コスト面においても、郵送代、紙代等を削減できることを確認できた。

■考察

今回の実証実験により、改めて電子契約システムの業務効率化の効果や、ペーパーレス化の効果を確認することができた。

また、事業者側にとって、このような事務コストは無視できないものであり、特に中小企業や小規模事業者をはじめとする事業者の負担を低減できる点でメリットが期待できる。

実際に、本実証実験に協力した事業者からは「**押印作業の簡素化の実現が可能になり、業務効率化、コスト削減の面で効果が感じられる**」との好印象を得られた。

そのほか、「時間も削減でき、別の業務に時間を充てることができた」「上司承認の手間が減った」「電子化に伴い公印が不要となるので、場所に束縛されずに手続きを進めることができる。テレワークにより即していると感じた。」とのご意見をいただいた。一方で、契約業務に電子契約を使用する場合、従来の紙を使用した業務とは業務フローが変わることから、電子契約を導入する場合には、社内規定の改正、情報システム環境の整備を進める必要があるとのご意見もいただいた。

■課題と対策

大きな課題は発生しなかった。アカウントの管理や契約課以外で利用する場合の管理など、電子契約の導入を進める上で必要な庁内ルールの作成は発生すると考えられる。

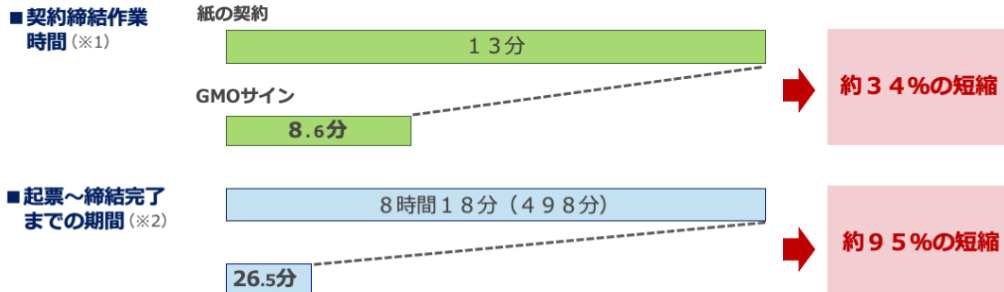
■今後の導入に向けて（横須賀市財務部契約課より）

昨年来、契約書類の押印省略等を実施し、電子契約の導入を検討してきたが、実証実験でも、業務効率化を実現できることがわかった。今後は庁内職員または事業者の理解を広め、課題を解決しながら導入に向けた本格的検討を進めていきたい。

次項より、実証実験により得られた数値結果のグラフを記載する

■横須賀市グラフ

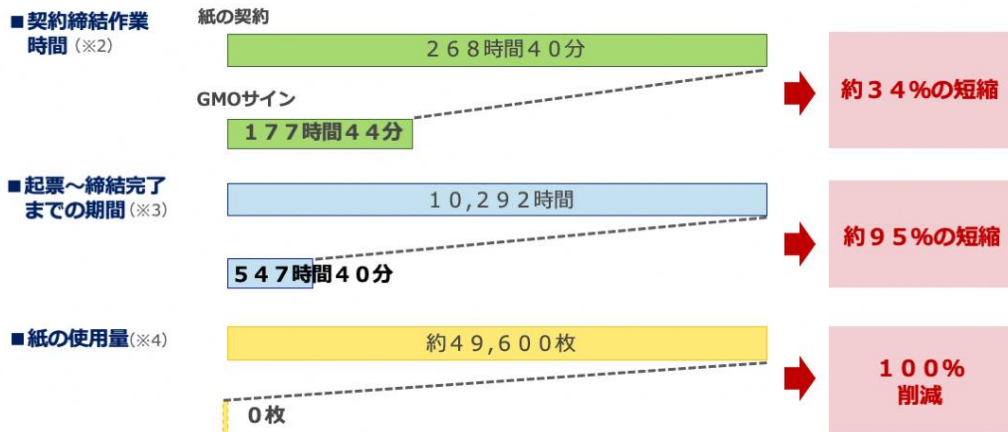
横須賀市 コストと業務効率化（1契約あたりの平均）



(※1) 市が契約相手先企業より契約書を受領してから押印が完了するまでの時間について1契約あたりの平均値を求めたもの。

(※2) 市が契約書を契約相手先企業に渡してから、双方押印後、副本を契約相手先企業に渡し、契約締結が完了するまでの時間について1契約あたりの平均値を求めたもの。

横須賀市 コストと業務効率化（年間試算値）^(※1)



(※1) 横須賀市の全契約のうち、工事・業務委託・物件調達に関する年間の契約件数（前年度実績1,240件）をもとに、年間合計値の試算をおこなっています。

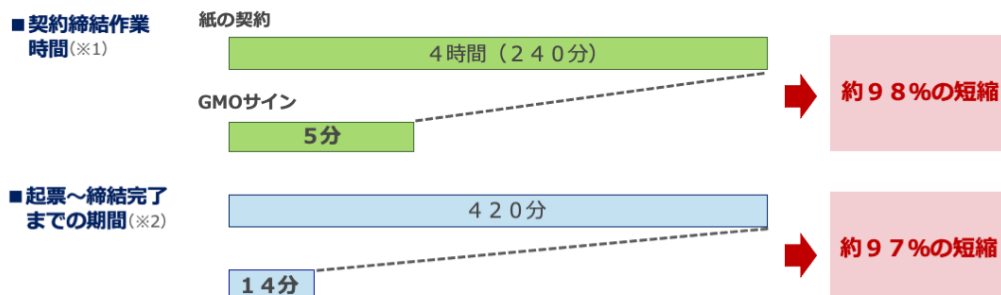
(※2) 市が契約相手先企業より契約書を受領してから押印が完了するまでの時間の年間累積値を試算したもの。

(※3) 市が契約書を契約相手先企業に渡してから、双方押印後、副本を契約相手先企業に渡し、契約締結が完了するまでの時間の年間合計値を試算したもの。

(※4) 横須賀市契約課で取り扱う入札・随意契約等の契約関連業務で使用する紙の年間合計値を試算したもの。

■ 協力事業者[F社]グラフ

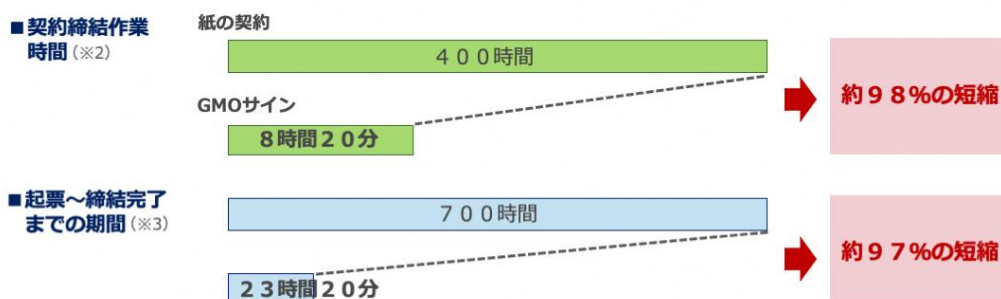
協力事業者[F社] コストと業務効率化（1契約あたりの平均）



(※1) 協力事業者[F社]が社内ワークフローでの承認から契約書へ押印がされるまでの時間について、1契約あたりの平均値を求めたもの。

(※2) 協力事業者[F社]が契約書類を受け取り、直接横須賀市に提出するまでの時間について、1契約あたりの平均値を求めたもの。

協力事業者[F社] コストと業務効率化（年間試算値）^(※1)



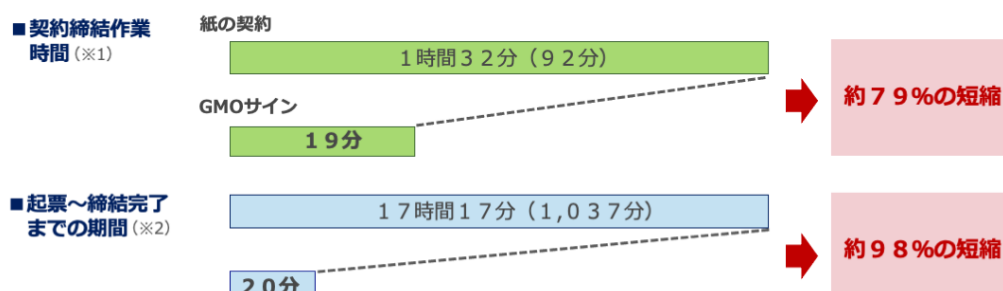
(※1) 協力事業者[F社]が市から書類を受領し押印または署名を済ませてから市に返送するまでの時間について、1契約あたりの平均値をもとに、年間契約件数100件を想定し、年間合計値を試算したもの

(※2) 協力事業者[F社]が社内ワークフローでの承認から契約書へ押印がされるまでの時間についての1契約あたりの平均値をもとに、年間契約件数100件を想定し、年間合計値を試算したもの

(※3) 協力事業者[F社]が契約書類を受け取り、直接横須賀市に提出するまでの時間についての1契約あたりの平均値をもとに、年間契約件数100件を想定し、年間合計値を試算したもの

■ 協力事業者[I社]グラフ

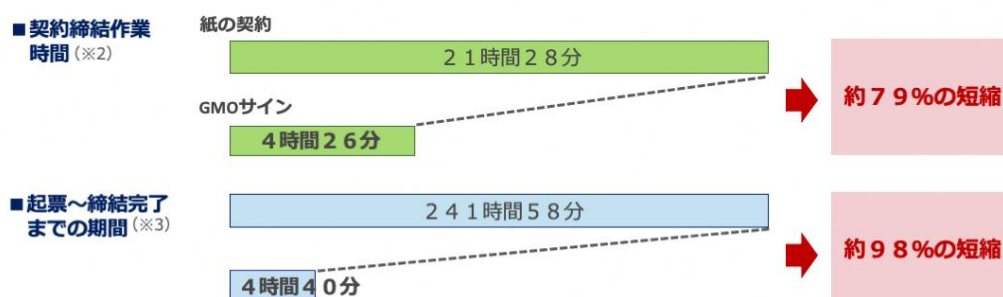
協力事業者[I社] コストと業務効率化（1契約あたりの平均）



(※1) 協力事業者[I社]が印紙等の承認・準備時間を含む、押印までの決裁手続きに必要な時間について、1契約あたりの平均値を求めたもの。

(※2) 協力事業者[I社]が契約受領から返送までの製本、押印、スタンプ、郵送手続きを行う作業時間について、1契約あたりの平均値を求めたもの。

協力事業者[I社] コストと業務効率化（年間試算値）^(※1)

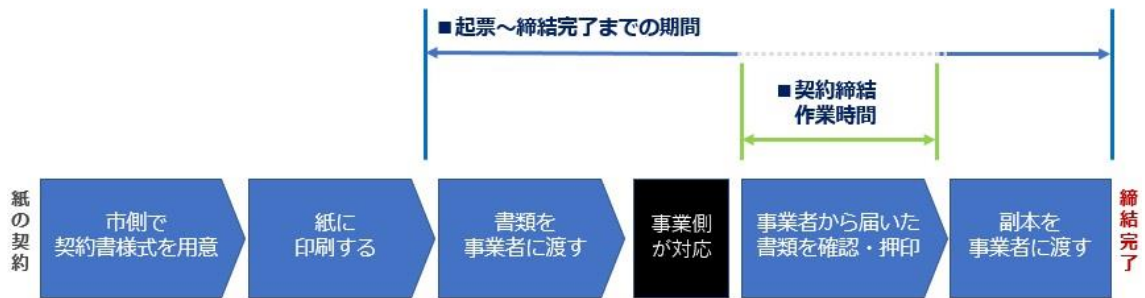


(※1) 協力事業者[I社]が市から書類を受領し押印または署名を済ませてから市に返送するまでの時間について、1契約あたりの平均値をもとに、年間契約件数14件を想定し、年間合計値を試算したもの

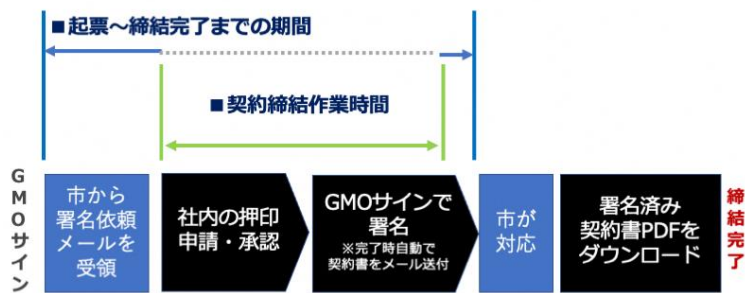
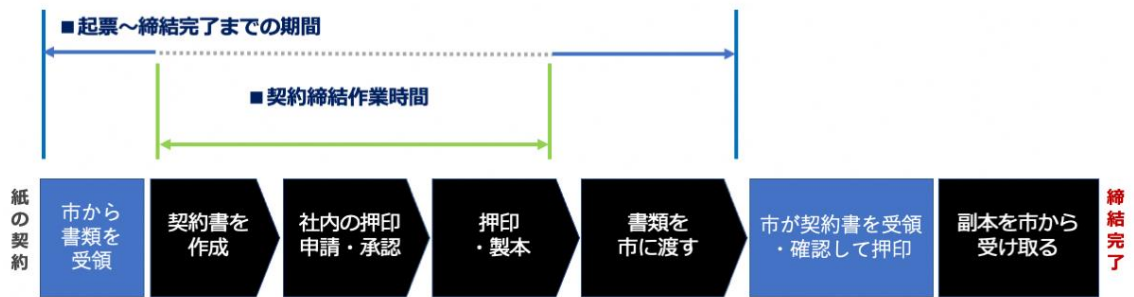
(※2) 協力事業者[I社]が印紙等の承認・準備時間を含む、押印までの決裁手続きに必要な時間について、1契約あたりの平均値をもとに、年間契約件数14件を想定し、年間合計値を試算したもの

(※3) 協力事業者[I社]が契約受領から返送までの製本、押印、スタンプ、郵送手続きを行う作業時間について、1契約あたりの平均値をもとに、年間契約件数14件を想定し、年間合計値を試算したもの

【参考】横須賀市と協力事業者の契約締結フロー [横須賀市の対応]



【参考】横須賀市と協力事業者の契約締結フロー [協力事業者(I社/F社)の対応]



■ **本実証実験に関するお問い合わせ**

【横須賀市役所】

経営企画部デジタル・ガバメント推進室 大島

TEL : 046-822-9615

E-mail : takenori-ooshima@city.yokosuka.kanagawa.jp

【GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社】

社長室 広報担当 遠藤・松下

TEL : 03-6415-6100

E-mail : pr@gmogshd.com